

# 日火連短信

令和 8 年 5 月 1 4 日 第 239 号

〒106-0041  
東京都港区麻布台 2-3-22 一乗寺ビル 3F  
一般社団法人 日本火薬銃砲商組合連合会  
専務理事 大岩 伸夫  
TEL 03-5549-9041  
FAX 03-5549-9042  
URL <http://www.nikkaren.jp/>  
E-mail : nikkaren-n.ooiwa@nikkaren.jp  
info@nikkaren.jp

5月半ばながら、すでに全国各地で夏日が続き、気象庁からは「暑く長い夏」になる予報が出て、例年以上に熱中症対策の重要性が叫ばれています。当会会員の従業者の方は熱中症対策が必要とされる作業環境において従事されるケースも多いと思われますから、別添1～3を参照の上、熱中症対策の強化に取り組んで頂くようお願いいたします。

- ◇ 別添1：令和7年 職場における熱中症による死亡災害の発生状況  
熱中症による死亡災害の具体事例を参照してください。
- ◇ 別添2：リーフレット「みんなで防ごう熱中症」
- ◇ 別添3：リーフレット「熱中症予防のために」

基安発 0319 第 7 号

令和 8 年 3 月 1 9 日

一般社団法人日本火薬銃砲商組合連合会会長 殿

厚生労働省労働基準局  
安全衛生部長

令和 8 年「STOP！熱中症 クールワークキャンペーン」の実施について

職場における熱中症予防対策については、平成 29 年から「STOP！熱中症 クールワークキャンペーン」を実施し、各防災団体等と連携して熱中症予防対策に取り組むとともに、令和 7 年 6 月に施行された労働安全衛生規則の遵守を図ってきたところです。

昨年 1 年間の職場における熱中症の発生状況（令和 7 年 12 月末速報値。別添 1 参照。）を見ると、死亡を含む休業 4 日以上之死傷者数は 1,681 人、うち死亡者数は 15 人となっています。死亡者数は減少したものの、死傷者数は前年比約 4 割の大幅な増加となっており、業種別にみると、製造業 337 人、建設業 278 人、商業 221 人、運送業 201 人、警備業 186 人となっており、死傷者数については、全体の約 4 割が建設業と製造業で発生しています。また、死亡者数は、建設業が最も多く、警備業が続きます。熱中症予防のための労働安全衛生教育の実施を確認できなかった事例や、糖尿病、高血圧症など熱中症の発症に影響を及ぼすおそれのある疾病や所見を有している者への配慮を行っていなかった事例も見られました。これを踏まえ、熱中症予防対策のさらなる推進のため、厚生労働省では、本年 3 月に「職場における熱中症防止のためのガイドライン」を策定したところです。

貴会におかれましても、キャンペーンの趣旨を踏まえ、会員事業場に対し、その周知を図っていただきますとともに、各事業場において確実な取組が行われますよう、特段の御配慮をお願いいたします。